

奈川での学びに誇りと自信を

松本市立奈川小中学校【児童数 6 名・生徒数 5 名（R 6.4 時点）青森隆俊校長】は、学校教育目標に「夢を追い 心豊かに たくましく」を掲げ、日々の学校経営を進めています。

2 月 18 日に今年度最後となる「第 3 回奈川小中学校コミュニティスクール運営委員会」にお邪魔しました。前日には奈川、安曇、大野川の児童生徒が交流する「子どもたちの集い」が安曇小中学校で初めて開催されました。そのようすを伝える新聞記事を資料に、元気な子どもたちが地域の皆さんと一緒に豊かな学びを積み重ねてきたようすを荒井教頭先生が報告しました。さらに、今年度新たに設置した地域交流ルームで、奈川地区福祉ひろば出張ふれあい健康教室などの講座を行い、子どもたちが地域の方々と交流するきっかけとなったことに加え、奈川歴史民俗資料館の所蔵品の一部を展示したことを機に、飛騨と信濃を結んだ野麦街道の足跡が残る奈川の歴史に、子どもたちが日常的に触れることができるようになったことを報告しました。

また、来年度から始まるウェルビーイング実践校 TOCO-TON（トコトン）の取組について説明。「アルプスすべてが学びのステージ」をキャッチフレーズに奈川、安曇、大



野川の 3 地区 6 小中学校が 1 つの学園として一体になり、3 つのキャンパスをリアルやオンラインで行き来し、自由自在に学び合う学校を創ります。この取組の第 1 弾となる 17 日の「子どもたちの集い」では、3 地区の約 80 名の子どもたちが、じゃんけん列車や校舎を広く使ったかくれんぼで打ち解け合いました。奈川小の 1 年女子児童が「初めて会った中学生のお友だちと遊べてうれしかった」と感想を述べてくれました。運営委員会では、子どもたちのこのような学びを後押しし、今後も地域として学びの場づくりを学校とともにすすめていくことが確認されました。

運営委員会終了後、青森校長先生と懇談し、新しい学校づくりを進める上で「手がかり」となるものについて話題に。「それは、授業です。より多くの友だちと学べるような豊かな授業です。やはり、最後は授業です」と、きっぱり。奈川の野麦峠、安曇の上高地、大野川の乗鞍。相互の学びを通して、改めて自分たちの住む地域の理解が進み、地域を思う心がさらに育ってほしいと優しい笑顔で語っていました。

目指す姿
学びの成果が生きる生涯学習
～人がつながり、学び合う豊かな地域づくり～



重点目標
【社会教育】
「地域と共にある学校づくり」「地域づくり」「人づくり」を支援する
【社会人権教育】
「『人』が大切にされる地域づくり」支援
【生涯スポーツ振興】
「生涯を通じたスポーツを『する・みる・ささえる・知る』機会づくり」支援

令和 7 年 2 月 26 日

長野県教育委員会事務局
中信教育事務所生涯学習課
学校訪問だより【27】

〒390-0852

長野県松本市島立 1020 松本合同庁舎内

TEL 0263-40-1977 FAX 0263-47-7840